



先週
の
ドル
円

Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

先週
の
相場
概況

26日

貿易を巡る米中対立の激化懸念から、週明け早朝のオセアニア市場でドル円は日米株価指数の急落とともに一時104.46円と2016年11月9日以来の安値まで売り込まれた。ただ、一巡後は本邦輸入企業の買いが観測されるなどショートカバーの動きが優勢に。米中要人から楽観的な見解が示されると、株価が大幅に反発しドル円も106.41円まで買い上げられた。

27日

ドル円は月末を前に本邦輸出企業から売りが観測されるなど東京市場はさえない動きとなり、一時105.59円まで下押しした。一方、海外市場では105円台後半を中心としたもみ合いに終始した。

28日

ドル円は105円台後半でのもみ合いが続いていたが、NY市場に入ると米国株を中心に株価が一転上昇したため、つれる形で一時106.23円まで値を上げた。

29日

中国政府が9月の米中閣僚級協議に前向きな姿勢を示すと、米中貿易協議の進展に期待感が高まり、株高・米金利高が進んだ。ドル円はその流れに乗って一時106.68円まで上げ幅を広げた。

30日

月末とあってドル円には本邦輸出企業の売りが持ち込まれた。海外時間に入っても上昇した米長期金利が上昇幅を縮めると106.11円まで値を下げた。月末のロンドンフィキシングに向けたフローから対ユーロでドル高が進むと106.40円台まで切り返す場面も見られた。

総括

先週のドル円は底堅い動きとなった。深刻な米中問題を受けて週明けは売りが優勢となり、早朝取引で一時104.46円まで下げたが、先週はここが底値となった。その後は両要人発言に振られながらも過度な警戒感後退で株価反発とともにドル円はショートカバーが優勢に。一時106.68円まで反発する場面も見られた。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
26日	21:30	月	USD	耐久財受注	前月比	7月	2.0%	1.8%	1.1%	2.1%
27日	15:00	火	DEM	GDP改定値	前期比	4-6月期	-0.1%		-0.1%	-0.1%
27日	23:00	火	USD	消費者信頼感指数	*	8月	135.7		129.5	135.1
29日	21:30	木	USD	GDP改定値	前期比年率	4-6月期	2.1%		2.0%	2.0%
30日	18:00	金	EUR	HICP速報値	前年比	8月	1.1%		1.0%	1.0%
30日	21:30	金	CAD	GDP	前期比年率	4-6月期	0.4%		3.0%	3.7%
30日	21:30	金	USD	PCEコア	前月比	7月	0.2%		0.2%	0.2%

一言コメント・・・米重要指標の発表が相次ぎましたが、マーケットは米中貿易協議に絡んだ両国の要人発言やECB関係者の発言に反応する展開となりました。その他、月末のフローや債券市場の動向に左右されました。

先週の注目された要人発言

26日11:53 劉鶴中国副首相「中国は、米中両国に不利益となる貿易戦争に断固として反対する」「冷静な交渉で通商摩擦の解決を望む」
 26日15:59 トランプ米大統領「中国から通商協議の再開を望む旨の連絡があった」「中国への追加関税の延期について可能性はある」「我々は中国と最高水準の電話協議を行なった」「貿易協議次第では米企業は中国に留まる」
 26日16:21 中国外務省「先週末に中国が米国に電話したことを認識していない」
 27日07:16 オアRBNZ総裁「前回の50bp利下げは国内懸念によるものが大きい」
 27日16:20 中国外務省「米中の電話協議の話は聞いていない」「米国が間違った行動をやめ、話し合いの状況を作ること願う」
 27日21:08 デギンドスECB副総裁「長期的に低金利が続くだろう」
 29日06:01 ムニューシン米財務長官「超長期債の発行を真剣に検討」「米国は当面、ドルに関して介入する意思はない」
 29日16:12 中国商務省「米中は有益な関係」「貿易衝突は中国、米国、世界にとって良くない」「新たな制裁に対応する十分な報復手段がある」「米中は9月の訪米で議論している」
 29日22:17 ラガルドIMF専務理事(EU議会への書簡で)「ECBの政策金利は下限に達していない」
 31日00:41 トランプ米大統領「ユーロがドルに対して狂ったように下落しているが、FRBは何も対応していない」

一言コメント・・・米中両国の要人発言で貿易摩擦激化への警戒感が和らぎ投資家のリスク回避姿勢が後退。株価は反発しました。また、ユーロ圏要人の発言を受けてECBが緩和を強化するとの見方が強まるとユーロ安が進みました。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
3日	13:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	1.00%		1.00%
3日	23:00	火	USD	ISM製造業指数	*	8月	51.2		51.2
4日	23:00	水	CAD	BOC政策金利	*	*	1.75%		1.75%
5日	21:15	木	USD	ADP雇用統計	前月比	8月	15.6万人		14.6万人
5日	23:00	木	USD	ISM非製造業指数	*	8月	53.7		54.0
6日	21:30	金	CAD	新規雇用者数	*	8月	-2.42万人		
6日	21:30	金	USD	NFP	前月比	8月	16.4万人		15.9万人

今週の注目は・・・米雇用統計

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。